

令和7年9月決算審査特別委員会

令和7年9月11日（木曜日）

◎ 出欠席委員氏名

林 智 委員長 鈴木 英 友 副委員長

出席委員（13名）

1番 漆山 光春 委員 2番 東海林 信弘 委員 3番 林 智 委員
4番 増川 憲一 委員 5番 安孫子 真弥 委員 6番 木村 章一 委員
7番 奥山 英幸 委員 8番 安達 智勇 委員 9番 佐藤 修二 委員
10番 鈴木 英友 委員 11番 石垣 光洋 委員 12番 細矢 誓子 委員
13番 吉田 芳美 委員

欠席委員（0名）

◎ 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

真木 秀章 事務局 長 田川 美和子 専門 員
岡崎 美穂 議事 係 長

◎ 説明のため議場に出席した者の職氏名

森谷 俊雄 町 長 河内 耕治 副 町 長
板坂 憲助 教 育 長 清野 一晴 監 査 委 員
日塔 俊浩 防災・危機管理監兼
総務課 長 大泉 正博 防災危機管理課長
牧野 隆博 政策推進監兼
企画財政課 長 日下部 敦子 暮らし応援課長
今田 史明 生活環境企画主幹 軽部 昭博 税務町民課長
矢作 勲 健康福祉課長 池田 恵子 こどもみらい課長
佐藤 晃一 農林振興課長併
農業委員会事務局長 軽部 広文 商工観光課長
奥山 明子 雛とべに花の里推進主幹 土方 一郎 都市整備課長
松田 浩一 上下水道課長 鈴木 淳子 会計管理者兼
会 計 課 長
宇野 勝 学校教育課長 秋場 弘昭 生涯学習課長

◎ 委員会日程

令和7年9月11日（木） 午前9時開議

委員会日程第4号

日程第1 付託案件の審査、採決

議第48号 令和6年度河北町水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について

議第49号 令和6年度河北町下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について

閉 会

◎ 本日の会議に付した事件

委員会日程第4号のとおり

◎ 開 議

午前9時

○林委員長 おはようございます。

本日の欠席通告委員はありません。

ただいまの出席委員数は13名であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の委員会日程は、お手元に配付のとおりであります。

○林委員長 日程第1、付託案件の審査、採決を行います。

最初に、議第48号令和6年度河北町水道事業会計の剰余金処分及び決算認定についてを議題とします。

収益的収入及び資本的収入並びに歳出全款及び調書についての質疑の通告を求めます。

（5番、6番の通告あり）

5番安孫子真弥委員、6番木村章一委員、落ちありませんか。

（「なし」の声あり）

それでは、「5番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 私からは1点質疑させていただき

ます。

15ページ、（2）保存工事の概況の中の消火栓工事についてであります。

まず初めに、同じ消火栓工事でも費用にばらつきがあると思うんですけれども、その要因についてお伺いします。

○林委員長 「松田上下水道課長」

○松田上下水道課長 それでは、保存工事の概況ということで、消火栓工事の内容につきましてお答えさせていただきます。

消火栓工事は、基本的に本体の設置と及び配管の工事がメインとなると思いますけれども、いろいろな下水道工事との関連で消火栓を移設したり設置するという場合もございまして、配管工事がない場合、ただ本体の設置のみになる場合は価格が安くなるというようなことがございます。

以上です。

○林委員長 「5番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 続けて、消火栓工事における水道管への損傷対策状況についてお伺いします。

昨年、給水を一時的に止めたことによって、

管内のさびが一般家庭などに流れてしまう事案が発生したと思うんですけども、その後のような対策を行っているのかお伺いします。

○林委員長 「松田上下水道課長」

○松田上下水道課長 お答えします。

そういった事案がありまして、その後、配管と配管をつなぐ離脱防止の金具を必ず入れ替えるというような措置を取るようになっております。

また、工事中の状況につきましては、随時職員等も現場を確認させていただいて、安全な工事を進めるよう注意させていただいております。

以上です。

○林委員長 「5番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 続けまして、その対策に伴う費用については入札の金額に反映されていると考えているかどうかをお伺いします。

○林委員長 「松田上下水道課長」

○松田上下水道課長 そこも経費の中に見込みまして、数万円程度とお聞きしていますけれども、一応、設計の中に見積もっております。

以上です。

○林委員長 「5番安孫子真弥委員」

○安孫子委員 終わります。

○林委員長 以上で5番安孫子真弥委員の質疑を終わります。

次に、「6番木村章一委員」

○木村委員 水道会計決算で、経営調査資料の3ページですけれども、有収率ですが、令和5年度は84.3%、令和6年度が81.1%で、3.2%も有収率が下がっているというふうなことについて、どんな分析と対策をしているかお聞きします。

○林委員長 「松田上下水道課長」

○松田上下水道課長 有収率が落ちているということは非常に水道会計としては好ましくない

状況でございますので、毎年、漏水調査というものを実施しております。

令和6年度におきましては、決算書では18ページに載っております契約内容の中で衛星画像漏水解析調査業務委託というものを行って、漏水調査行ったところでございます。そこで衛星から確認できた漏水箇所、漏水がしていると思われる箇所が50か所ございまして、実際にその現場に赴きまして調査したところ、16か所の漏水が認められたということで、その漏水の修繕工事は行っておりますが、まだ有収率が落ちているということは、恐らくどこかまた漏れている箇所があるのかなというところ、今年もまた念入りに漏水調査行っていきたいと考えております。

○林委員長 「6番木村章一委員」

○木村委員 前年度比較して3.2%の有収率減というのはなかなか大きな数字だと思いますけれども、ほかに何か、原因として漏水だけに求めているということでしょうか。さらに分析など必要ないのかどうかですね。どう考えていますか。

○林委員長 「松田上下水道課長」

○松田上下水道課長 やはり有収率が落ちる原因は漏水としか考えられないのかなというところで、漏水分析を徹底して行うというところで、今、主眼に置いて頑張っております。

○林委員長 「6番木村章一委員」

○木村委員 何か大量にメーターを通さないで水道水を放出する、洗管をするとかですね、何かで放水をして、その分だけ有収率響いたとかそういったことはないという年度だったんでしょうか。

○林委員長 「松田上下水道課長」

○松田上下水道課長 実際そこまで分析はしていない現状でしたので、ちょっとそこら辺も考慮して見ていきたいと思っております。

○林委員長 「6番木村章一委員」

○木村委員 質疑終わります。

○林委員長 以上で6番木村章一委員の質疑を終わります。

以上をもちまして、議第48号令和6年度河北町水道事業会計の剰余金処分及び決算認定についての質疑を終わります。

討論に入ります。討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

採決します。

採決は電子システムによる投票により行います。

本案を原案のとおり決定及び認定するに賛成の方は賛成のボタンを、反対の方は反対のボタンをそれぞれ押してください。

(電子採決)

押し忘れありませんか。

(「なし」の声あり)

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成全員であります。

よって、議第48号令和6年度河北町水道事業会計の剰余金処分及び決算認定については原案のとおり可決及び認定することと決定しました。

○林委員長 次に、議第49号令和6年度河北町下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定についてを議題とします。

収益的収支及び資本的収入並びに歳出全款及び調書等についての質疑の通告を求めます。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認めます。

以上をもちまして、議第49号令和6年度河北町下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定についての質疑を終わります。

討論に入ります。討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

討論なしと認めます。

採決します。

採決は電子システムによる投票を行います。

本案を原案のとおり決定及び認定するに賛成の方は賛成のボタンを、反対の方は反対のボタンをそれぞれ押してください。

(電子採決)

押し忘れありませんか。

(「なし」の声あり)

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成全員であります。

よって、議第49号令和6年度河北町下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定については原案のとおり可決及び認定することに決定いたしました。

○林委員長 これをもって、本決算審査特別委員会に付託されました7議案についての審査は全て終了しました。

お諮りします。本決算審査特別委員会は、議長を除く全議員で構成されていますので、本会議には審査経過についての報告を省略し、結果のみの報告としたいと思います。これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、本会議には結果のみの報告とすることにします。

これにて決算審査特別委員会を閉会することになりますが、閉会するに当たり一言ご挨拶申し上げます。

去る9月8日から本日まで、委員の皆様には終始意欲的にご審議いただきまして、深く感謝申し上げます。

あわせて、委員長という大役に不慣れなことから多々ご迷惑をおかけしましたことをおわび申し上げます。

当局におかれましても終始丁寧な説明に当たられましたことを深く感謝申し上げます。審査の過程におきましては、各委員から多くの提言がなされましたが、それらのことは全

て町民の声であることを理解され、今後の町政に十分生かされることを強く願うものであります。

以上、簡単ではございますが、閉会に当たりまして、私の挨拶とさせていただきます。

以上をもちまして、決算審査特別委員会を閉会します。ご協力ありがとうございました。

午前9時13分 閉会



会議の経過を記載し、その相違のないことを証するためここに署名します。

令和7年9月

臨時委員長 細矢 誓子

決算審査特別委員長 林 智

会議録署名委員 奥山 英幸

会議録署名委員 木村 章一

